

日本政治学会 会報

The JPSA News

No. 29

MAY 1995

最近の国際交流活動について

国際交流委員長 北岡伸一

従来、アメリカ政治学会（APSA）との研究者交換を中心として行ってきた国際交流活動も、最近、その範囲が一段と拡大し、新たな段階を迎えているように思われます。この点を中心に、最近の活動について、簡単な報告をさせていただきます。

- 1、活動範囲の拡大に対応するため、国際交流委員会を、他の委員会と同様、数名の委員からなる委員会として組織することとし、田中愛治（青山学院大学）、久保文明（慶応義塾大学）、久米郁男（神戸大学）の3会員に委員とさせていただきました。
 - 2、APSAとの交流については、昨秋、先方より、インターネットを利用して、両国政治学会の情報交換を活発化するなど、かなり大規模な計画が提案され、先方のイニシアティブで進めているところですが、まだ具体的な結論は出ておりません。
 - 3、ヨーロッパ政治研究機関連合（ECPR）の研究集会が、4月27日から5月2日までボルドーで開かれ、大嶽秀夫理事（東京大学）を中心に、松本礼二（早稲田大学）、久米郁男（神戸大学）、加藤淳子（東京大学）の各会員、さらに在外の田中明彦、樋渡展洋（ともに東京大学）の両会員に参加してもらいました。その結果、政党
- 政治、地域秩序などの3テーマについて、各テーマについて日欧から合計7名程度のグループで、3年程度の共同研究を実施しようという提案がありました。APSAとは違った形の交流を深めることが出来そうで、現在、その具体案を大嶽理事を中心に作成中です。
- 4、9月のAPSA大会には、千葉真（国際基督教大学）、新川敏光（北海道大学）両会員を派遣するほか、国際交流委員会から、私と田中委員が参加します。
 - 5、10月の本学会の総会・研究会では、2日目の午後、海外から参加の研究者を招いてパネルを組む予定です。出席者については、なるべく報告要旨とともにお知らせしたいと思います。また、1日目にはペーパーを配布する予定ですので、是非多数ご参加下さい。
 - 6、上記3については、関係者のご努力で、大部分は学会外の資金でまかなうことが出来ました。また、上記4、5についても、同様の見通しです。
 - 7、国際交流を、今後、欧米以外にも拡大する可能性があるかどうかについて検討するため、理事会内に、渡辺浩理事を委員長とする委員会が設置されました。

学 会 ニ ュ ー ス

1995年度 日本政治学会研究会プログラム (1995年4月末現在)

於 法政大学

10月7日(土)

共通論題A 「55年体制」の再検討

司会 大嶽 秀夫(京都大学)

報告「55年体制の

政治経済学的分析」

新川 敏光(北海道大学)

「55年体制下の労働政治」

久米 郁男(神戸大学)

「55年体制下における

政党-有権者関係の再検討」

小林 良彰(慶応大学)

討論 辻中 豊(筑波大学)

三宅 一郎(神戸大学)

分科会A 「新制度論」の射程

司会 森田 朗(東京大学)

報告「日本政治における合理選択

制度論の可能性と限界」

鈴木 基史(関西学院大学)

「新制度論と日本政治」

野中 尚人(学習院大学)

討論 加藤 淳子(東京大学)

川人 貞史(東北大学)

分科会B 戦後日本外交の検証

司会 大畑篤四郎(早稲田大学)

報告「鳩山政権の外交と冷戦」

田中 孝彦(一橋大学)

「石橋外交と日中米ソ関係」

増田 弘(東洋英和女学院大学)

「岸外交と戦後政治」

原 彬久(東京国際大学)

討論 坂元 一哉(大阪大学)

分科会C 政治思想における近代とポストモダン

司会 小野 紀明(京都大学)

報告「政治思想の類型-近代的

政治概念の組み替えのために」

佐藤 正志(東海大学)

「『ポストモダン』と自由主義」

富沢 克(同志社大学)

討論 塚田 富治(一橋大学)

加藤 節(成蹊大学)

分科会D 東京の政治経済学

司会 御厨 貴(東京都立大学)

報告「産業秩序と地域経済:

東京と大阪の比較」

北山 俊哉(関西学院大学)

「都市アイデンティティの政治社会学:

イデオロギーとしての『東京』」

町村 敬志(一橋大学)

討論 土岐 寛(大東文化大学)

篠田 徹(早稲田大学)

分科会E ナチスに協力したフランス:

ヴィシー体制試論

司会 土倉 莞爾(関西大学)

報告「ヴィシーと青年運動」

渡辺 和行(香川大学)

「ユリアージュ:ヴィシーと

レジスタンスのはざま」

平野千果子(鈴鹿国際大学)

「ヴィシー派知識人の形成」

剣持 久木(学振特別研究員)

討論 畑山 敏夫(佐賀大学)

10月8日(日)

共通論題B 国際社会の将来と国連の役割

司会 武者小路公秀(明治学院大学)

報告「国連体制の再構築」

最上 敏樹(国際基督教大学)

「国際統治における国連の役割:

諸資源(法的資源・財政資源・人的資源

・情報資源)の制約と対応」

城山 英明(東京大学)

「国連改革論議の意味するもの」

河辺 一郎(新聞資料センター)

討論 中村 研一(北海道大学)

志村 尚子(津田塾大学)

分科会F 「新しい社会民主主義」は可能か

司会 山口 定(立命館大学)

報告「新社会民主主義の可能性:

学 会 ニ ュ ー ス

イタリアと日本」

真柄 秀子 (筑波大学)

「ドイツ社会民主党と新社会運動」

丸山 仁 (名古屋大学)

「日本の社会民主主義の今日」

石川 真澄 (朝日新聞社)

討論 馬場 康雄 (東京大学)

住沢 博紀 (日本女子大学)

分科会G 行政思潮の変化と政策の転換

司会 水口 憲人 (龍谷大学)

報告「1980年代以降の雇用政策の転換と官僚の
ビヘイビア：外国人労働者対策を中心に」

小池 治 (茨城大学)

「内閣・官房・原局：大蔵省
1950年代のばあい」

牧原 出 (東北大学)

討論 真淵 勝 (大阪市立大学)

大山 耕輔 (筑波大学)

分科会H 近代日本とアジア

司会 野村 浩一 (専修大学)

報告「明治外交と朝鮮永世中立化構想」

大澤 博明 (熊本大学)

「大正・昭和初期の国民国家構想

とアジア：原敬と柳田国男」

川田 稔 (日本福祉大学)

討論 平石 直昭 (東京大学)

和田 守 (大東文化大学)

分科会I 開発と政軍関係

司会 片山 裕 (神戸大学)

報告「タイの政軍関係・1980年代以後の
クーデターを中心に」

玉田 芳史 (京都大学)

「韓国における経済開発と軍：

成長と国家安全保障の葛藤」

磯崎 典世 (東京大学)

「日中戦争期における軍部・官僚

・経済界：『1940年体制』形成過程にお
ける政軍関係」

滝口 剛 (近畿大学)

討論 廣瀬 克哉 (法政大学)

* 個別報告のタイトルは変更の可能性があります。

** このほかにAPSA, ECPRとの国際交流シン
ポジウムが予定されていますが、詳細は未定
です。

1994年度 第5回理事会記録

日時 1994年12月3日(土)午後1時30分～3時

場所 東京大学 法学部会議室

1994年度第5回理事会では、理事長挨拶の後、
以下の事項が報告・協議された。

1. 第4回理事会以降の事務処理について

常務理事から学会事務に関して以下の報告が
あった。

- (1) 法政大学で開催される1995年度総会・研究会の日程を10月7日(土)、8日(日)とすることに確定した。懇親会は7日(土)私学会館で開催予定である。なお会場使用費については、支払不要の方向で努力していただいている。

- (2) 10月29日に前事務局からの引き継ぎを行った。

- (3) 11月会報(12月9日付)を、12月6日に発送の予定である。

- (4) 委員会経費の予算執行が遅れて迷惑をかけているが、受け渡し方法を確認の上、ただちに執行したい。

2. 1998年以降の総会・研究会の開催校について
理事長から1998年度の総会・研究会の開催校を同志社大学としたい旨の提案があり、了承された。また、理事長から、1999年度の開催校についても候補校を絞っておく必要があるので、お考えがあればお知らせ願いたい旨の希望が述べられた。

3. 資金の有効活用について（引き継ぎ事項）

I P S A ラウンド・テーブル資金委員会から寄付があった5,749,594円を含む資金の活用方法について、いくつかの提案がなされ、協議された。協議を踏まえて、理事長から、寄付金のうち400万円を国際交流基金に繰り込み、残りの1,749,594円を予備費に計上してその使用方法をさらに検討したい、また国際交流基金の活用法についても、来年3月の理事会をめどに、弾力化の必要があればその方策を検討したい旨の提案があり、了承された。

4. 非西欧圏との交流について（引き継ぎ事項）

非西欧圏との交流について、理事長から理事会の意見を求め、種々意見の交換の後、理事長から、さしあたりアジアとの交流について検討する委員会を設けたい、この委員会の任務はアジアとの交流の可能性、その枠組みを検討することとした旨の提案があり、協議の後了承された。その後、理事長からこの委員会のメンバーを北岡国際交流委員長、渡辺理事、加茂理事とすること、委員会には会員のなかから専門委員を選任するのが適当であること、委員長を渡辺理事とすることが提案され、了承された。

5. 委員会報告

(1) 企画委員会

(1995年度)

加茂95年度企画委員長から、委員会メンバーは前回理事会で報告したメンバーで確定したい旨の報告があった。また同委員長から、分科会企画の公募の件を11月会報に掲載した旨の報告があり、ペーパーについては、売上金を本人に還元することはしないが提出を奨励したい旨の発言があった。共通論題のテーマについては、いくつかの候補の中から絞り込むべく検討中であるとの報告がなされた。

(1996年度)

蒲島96年度企画委員長から、委員会メンバーを来年3月の理事会で提案したい、テーマは現在検討中である旨の報告があった。

(2) 年報委員会

(1994年度)

田中94年度年報委員長から、1994年度の年報が本年12月22日に発行される旨の報告があっ

た。

(1995年度)

佐々木95年度年報副委員長から、特集1については研究会メンバーからの論文で構成することになり、特集2については公募論文を審査するレフリーを決定する予定である旨の報告があった。

(1996年度)

佐々木96年度年報委員長から、公募論文の件を11月会報に掲載したこと、題目の届け出の締め切りを来年3月31日に設定したことが報告された。

(3) 文献委員会

(1995年度)

天川95年度文献委員長から（常務理事代読）、「研究業績の自己申告についてのお願い」を作成して事務局に発送をお願いしたこと、「お願い」には「抜き刷り等の余部があれば送って欲しい」という文言を付け加えたことが報告された。また比較政治・地域研究を担当する文献委員メンバーとして国分良成会員（慶応義塾大学）を追加したい旨が報告された。

(1996年度)

渡辺96年度文献委員長から、委員会メンバーを検討中である、従来は30代の会員が中心であったが、理事に依頼することもあってよいのではないかと考えている旨の発言があった。

(4) 選挙管理委員会

森脇選挙管理委員長から、来年3月の理事会で日程について提案したい旨の発言があった。

(5) 国際交流委員会

北岡国際交流委員長から、前回理事会で委員会を拡大することが承認されたことに基づき、委員会メンバーを田中愛治（青山学院大学）、久保文明（慶応義塾大学）、久米郁男（神戸大学）の諸会員としたい旨が報告された。またアジアネットに関するアメリカ政治学会の提案については、前向きの回答をしているが、今のところ先方からの反応はない旨が、同委員長から報告された。E C P R の比較政治を主題とする研究集會に、本年6月の

学 会 ニ ュ ー ス

理事会で決定の3会員に加えて、国際政治、政治思想史、政治史の分野から2人ほど追加する計画がある旨、同委員長から報告され、了承された。ECPRとの関係の持ち方についても種々論議が行われた。ドイツの国際交流委員長K. コッホ氏から交流を深める事を希望する旨の手紙が来ていることが報告された。

6. 入会承認の件

下記の8名が入会を承認された。

田中明彦、山田央子、廉 載稿、岡田 浩、黒沼忠良、丹羽 功、平田美和子、四関安夫

7. 次回理事会の日程の件

次回理事会を1995年3月25日(土)、京大会館で開催することが承認された。

1994年度 第6回理事会記録

日時 1995年3月25日(土)午後1時30分～4時10分
場所 京大会館

1. 1994年度決算・監査の件

常務理事から決算に関して説明がなされた。監査については、監事から監査が3月25日午前中から滞りなく行われ、領収書と預金通帳が事務局の決算通りであること、しかし決算案には次年度繰越金となるべき差引残高が明示されていないとの報告があった。この報告を受けて、理事長から、差引残高を明示した決算案を後に理事に文書で報告するという条件で監査を承認願いたいとの発言があり了承された。

2. 1995年度予算の件

予算原案が常務理事から提出されたが、一部計数不備のために1995年7月1日の理事会に再度提出することとなった。理事長より、各費目については原案通り暫定予算として執行したい旨の発言があり、了承された。

3. 資金の活用・国際交流に関する件(継続)

理事長が、「非欧米圏の政治学会との交流に関する委員会」委員長・渡辺理事の手紙を代読し、非西欧圏の中でも主として、近隣のアジア諸国との関係を調査したい旨の提案とこれに関連して森山茂徳会員(独協大学)と藤原帰一会員(東京大学)を専門委員として委嘱したい旨の提案を紹介し、審議の上、了承された。

4. 国際交流基金の運用に関する件

前回理事会において、国際交流を拡張し資金

活用の弾力化をはかる目的で国際交流基金運用の規定を改正する可能性を事務局で検討することとされたが、理事長から、渡辺委員会の報告を待ちそのあとで規定改正に取り組むのが適切ではないかとの提案がなされ、了承された。

5. 委員会報告

(1) 企画委員会

1995年度企画委員会

① 加茂95年度企画委員長から95年度研究会プログラム案について提案がなされ、原案通り承認された。

② 「ペーパー・レジュメ等の扱い」について、委員会原案をもとに協議の結果、以下のことが決定された。

1) 報告者全員に、研究会報告要旨の原稿提出を依頼する(事前に全会員に配布)。

2) 研究会報告要旨以外に、ペーパー、レジュメ、資料等の配布を歓迎する。

3) レジュメ、資料は報告者に必要部数作成してもらうことを原則とし、セッション会場で無料配布する。

4) ペーパーは報告者に一定部数用意してもらい、販売コーナーで廉価販売する。当日開催校による増刷りはしない。販売収入は学会開催に役立てるようにする。

5) 国際交流シンポジウム用のペーパーは、開催校に印刷をお願いする(時間と費用に余裕があれば業者に委託することも考えられる)。

1996年度企画委員会

③ 理事長が、蒲島96年度企画委員長の手紙を

学 会 ニ ュ ー ス

- 代読し、蒲島委員長が北海道大学を訪問し、状況を確認したことを報告した。
- (2) 国際交流委員会
- ① 北岡委員長から、APSAとの交流について、情報交流のためのアジアネットについてはなお先方からの対応を待っていることが報告された。また新川敏光会員（新潟大学）、千葉真会員（国際基督教大学）、田中愛治会員（青山学院大学）、北岡伸一理事（立教大学）をAPSAに派遣することが提案され、了承された。
- ② 北岡委員長から、ECPRとの交流について、すでに決定している大嶽理事（京都大学）、久米郁男会員（神戸大学）、加藤淳子会員（東京大学）に加えて、松本礼二会員（早稲田大学）、田中明彦会員（東京大学）、樋渡展洋会員（東京大学）を派遣することが提案され、了承された。
- (3) 年報委員会
- ① 西尾95年度年報委員長から95年度年報について、特集2「20世紀のイデオロギー」は公募論文3本を掲載する方針であることが報告された。特集1「現代日本の政官関係」については、5月末をめどに、委員会メンバーによる執筆が進められていることが報告された。
- ② 佐々木96年度年報委員長から96年度年報について、特集1「55年体制の崩壊」について研究会の進捗状況および特集2「民主政論の新展開」についての公募の状況が報告された。
- ③ 理事長が、五百旗頭97年度年報委員長の手紙を代読し、97年度年報について、テーマおよび人選について検討を進めている旨の報告をした。
- ④ 西尾理事から公募制の在り方について問題提起がなされた。公募制の活性化の方策について引き続き検討することとされた。
- (4) 文献委員会
- ① 理事長が、五百旗頭94年度文献委員長の手紙を代読し、94年度の活動が無事終了したことを報告した。
- ② 天川95年度文献委員長から、95年度年報について、多数の会員から業績の自己申告があったことが報告された。
- ③ 理事長が、渡辺96年度文献委員長の手紙を代読し、96年度年報について、文献委員の選考を進めていることが報告された。
- (5) 選挙管理委員会
- 森脇委員長から選挙管理委員会委員の確認がなされるとともに、選挙日程について、以下の提案がなされ、了承された。
- 3・25（土） 理事会で日程（案）報告
4・15（土） 第一回選挙管理委員会開催（14時 関西学院大学）
5・1（月） 有権者名簿、宛名カードを事務局より受領予定
5・8（月）～11（木） 被選挙人名簿、投票用紙、説明書、封筒等の印刷発注
5・19（金） 発送作業、投函※
6・1（木）～7・1（土） 局留（西宮郵便局）の回収
7・8（土） 第二回選挙管理委員会開催、開票（関西学院大学）
当選者に当選通知及び諾否についての問い合わせ
7・18（火） 当選者氏名及び諾否について理事長（事務局）に報告
- ※ 選挙管理委員会の事情により、発送作業・投函は5・27（土）に変更。
6. 新入会員承認の件
以下の8名の入会を承認した。
小川賢治、小野寺五典、坂本健造、宋錫源、高田豊實、翟新、南充彦、横山豪志
7. 次回理事会の日程の件
次回理事会を、7月1日（土）に東京で開くことに決定した。



学 会 ニ ュ ー ス

日本政治学会 1994年度決算

費 目	予算額	執行額	残 高
収入			
1.前年度繰越金	3,771,155	3,771,155	0
2.会 費 収 入	8,754,250	9,314,720	560,470
3.雑 収 入	40,000	40,591	591
4.IPSA寄付受け入れ		5,749,594	5,749,594
5.年報つなぎ資金返却		300,000	300,000
収 入 合 計	12,565,405	19,176,060	6,610,655
支出			
1.研究会開催費	1,020,000	1,010,000	10,000
A.研究会準備金	970,000	970,000	0
B.報告者礼金	50,000	40,000	10,000
2.委員会経費	780,000	780,000	0
A.年報委員会	210,000	210,000	0
B.企画委員会	210,000	210,000	0
C.文献委員会	190,000	190,000	0
D.国際交流委員会	170,000	170,000	0
E.選挙管理委員会	0	0	0
3.理事会経費	100,000	51,195	48,805
4.IPSA学会分担金	200,000	184,764	15,236
5.事務局経費	1,090,000	928,406	161,594
A.理事長通信費	100,000	100,000	0
B.運 営 費	60,000	60,000	0
C.人 件 費	600,000	600,000	0
D.経 常 費	330,000	168,406	161,594
6.名簿作成積立金	450,000	450,000	0
7.国際交流基金へ	200,000	200,000	0
8.選挙管理費	0	0	0
9.会報発行費	480,000	438,458	41,542
10.年報会計へ繰越	4,800,000	4,800,000	0
11.予 備 費	3,445,405	900,000	2,545,405
支 出 合 計	12,565,405	9,742,823	2,822,582
差 引 残 高		9,433,237	9,433,237

一般会計資産

現金	19,825
郵便総合口座	3,114,874
さくら銀行普通口座	6,298,538
合 計	9,433,237

別会計(1) 名簿作成積立金

収入 前年度からの繰越	352,993
本年度積立金	450,000
利息	1,420
合 計	804,413
支出	0
差引残高	804,413

別会計(2) 国際交流基金

収入 前年度からの繰越	14,736,395
本年度積立金	200,000
利息	125,473
I P S A から	1,000,000
合 計	16,061,868
支出	261,500*
差引残高	15,800,368

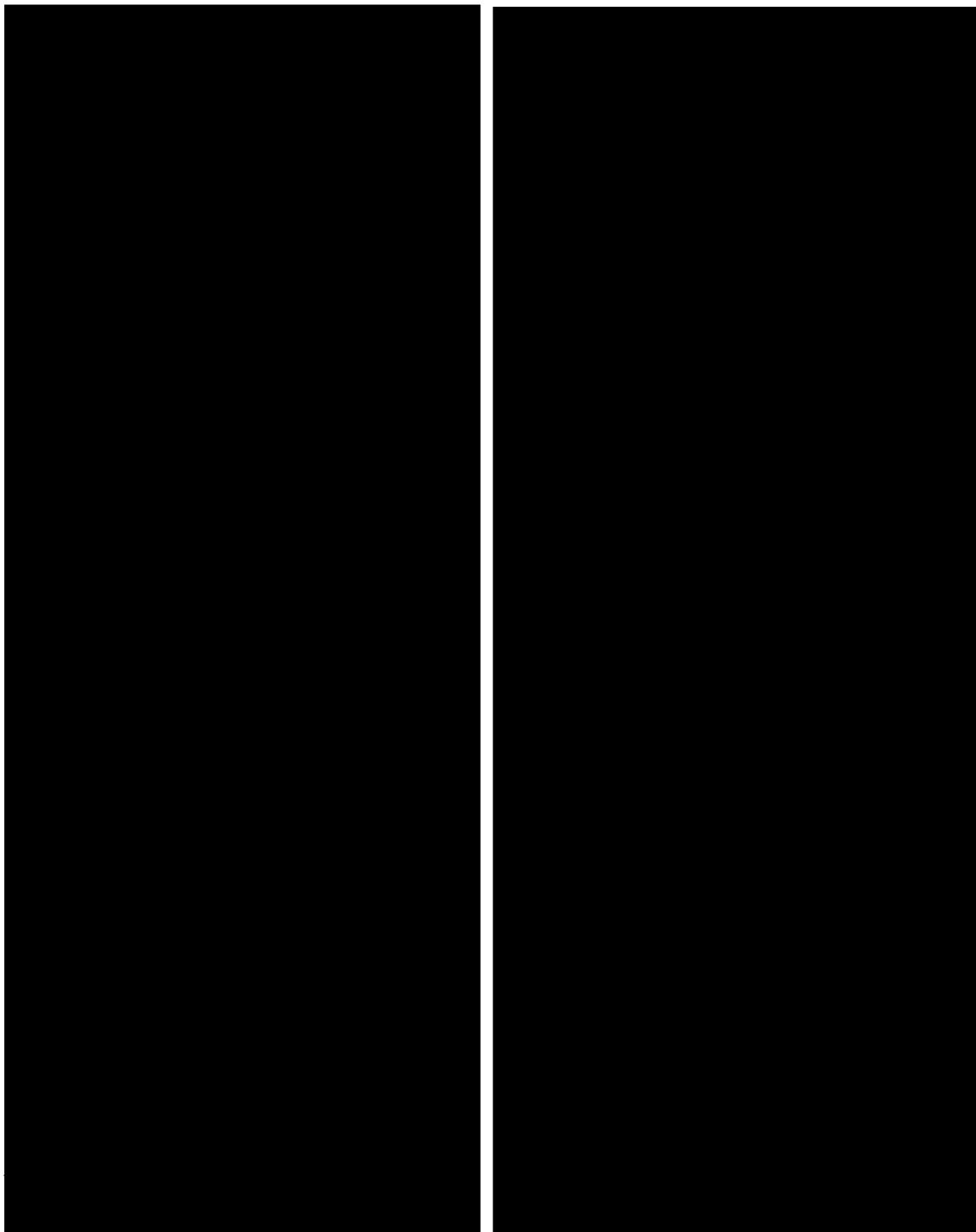
* 136,500 (研究会ペーパー代)
125,000 (海外派遣援助)

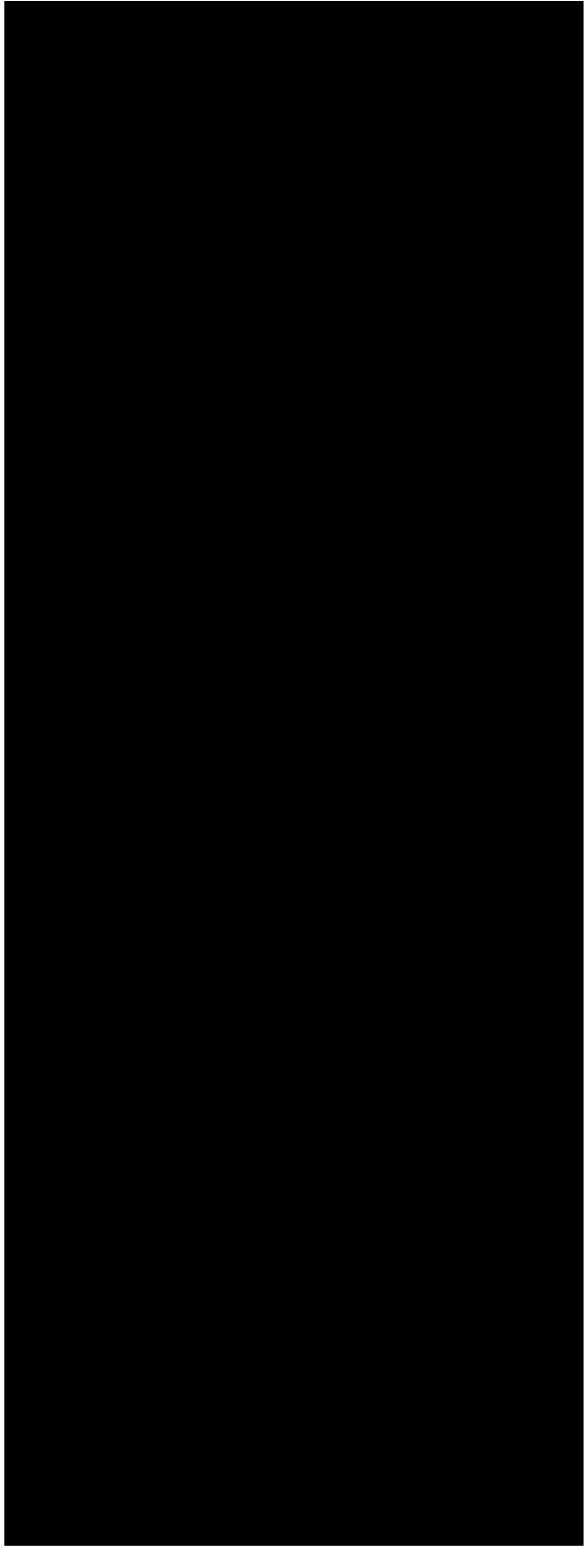
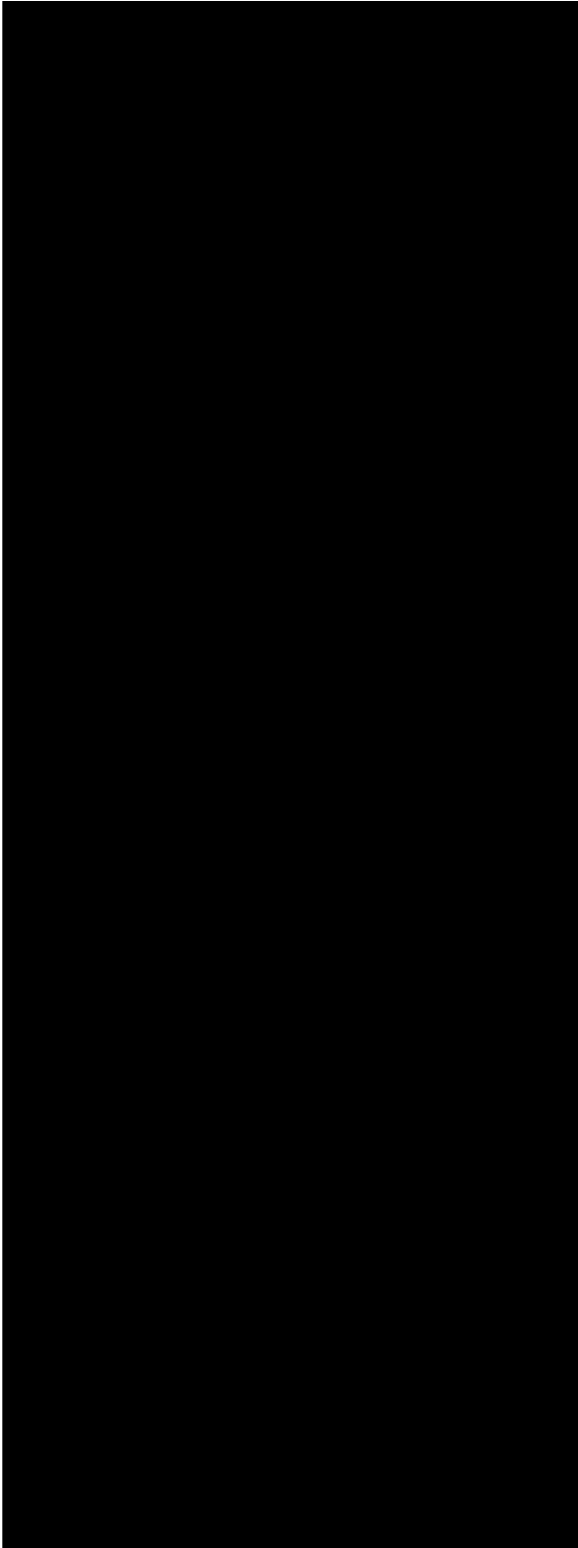
別会計(3) 年報会計

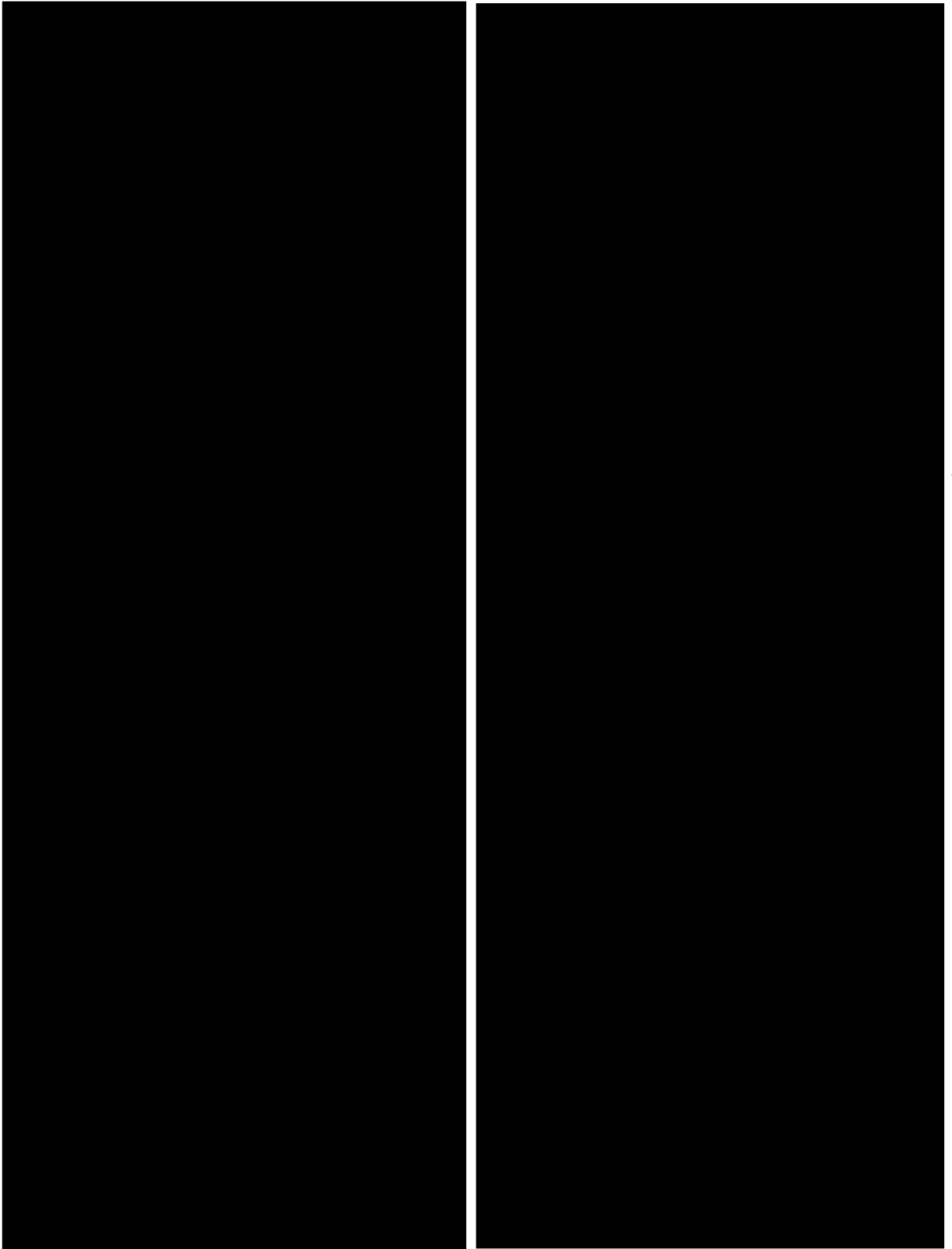
収入 前年度からの繰越	2,030,502
一般会計から	4,800,000
利息	25,449
合 計	6,855,951
支出	3,949,800
差引残高	2,906,151

学 会 ニ ュ ー ス

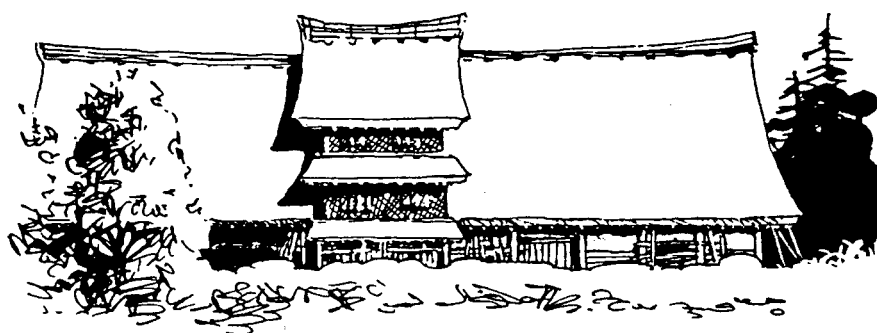
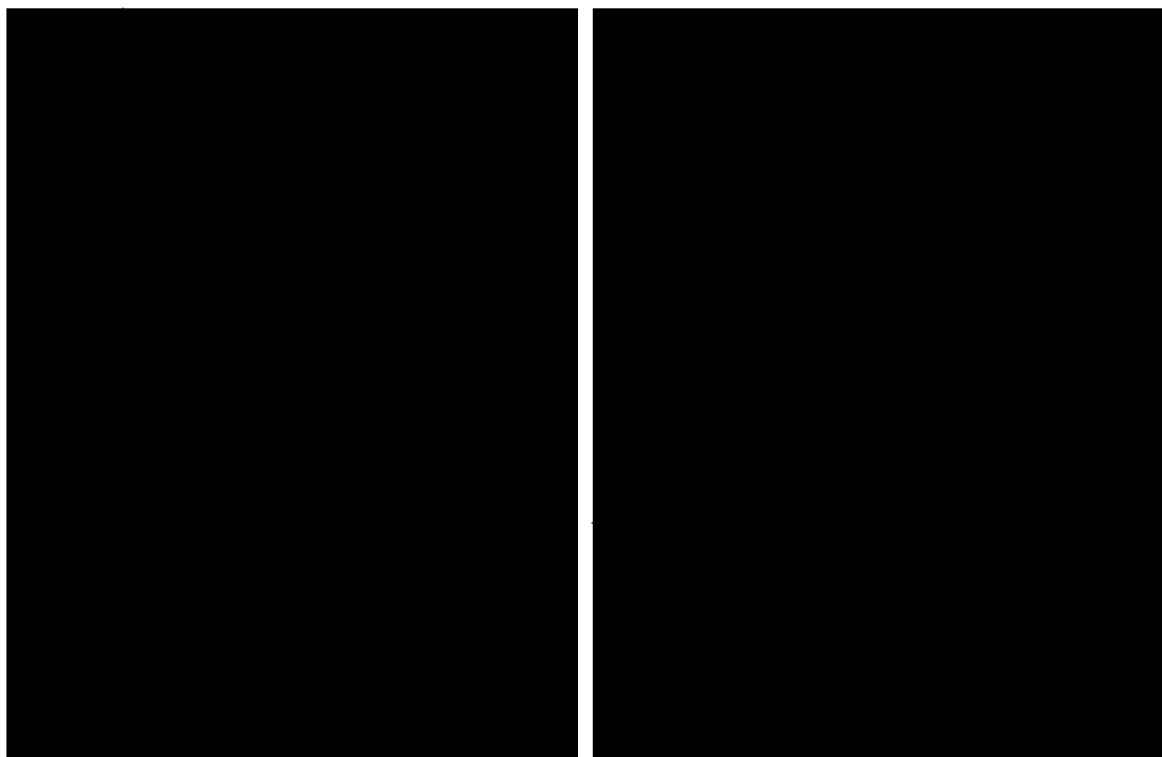
会 員 の 異 動 (1994.10.23~1995.5.1)







学 会 ニ ュ ー ス



学 会 ニ ュ ー ス

事 務 局 よ り

会費納入についてのお願い

新年度にあたり、会費を同封の振込用紙にて、お支払いただきますようお願い申し上げます。

1992年度より年報の会員配布制への移行に伴い、会費は以下ようになっておりますので、当該の金額をお振り込みください。なお、年報の配布は会費納入済みの会員にのみ行います。なるべく早めにお払い込みくださるようお願い申し上げます。

1. 金 額 一般会員 7,500円
 大学院生 5,000円
2. 一般会員の場合
 一般会員の方には、7,500円の金額記入済みの振込用紙を同封しておりますので、同金額をご納入下さい。

3. 大学院生の場合
 現在大学院生として登録されている方には、5,000円と記入済みの振込用紙を同封しておりますので、変更のない場合は、そのままお振込み下さい。

4. 一般会員への変更の場合
 登録は大学院生であるものの、すでに大学院生でなくなった方は、金額欄を7,500円とご訂正の上ご送金下さい。（この場合通信欄にて名簿記載事項の変更をお知らせ下さい。）

なお、大学院生とは後期博士課程の正規の学生のみで、研究生・学術振興会特別研究員などは含まれませんので、これらに該当される方は、一般会員となります。

5. 前年度会費未納入の場合
 94年度会費未納入の会員には、94年度分と95年度とを加えた金額（一般会員15,000円、大学院生10,000円）を記入してあります。

大学院生と登録されていて変更のあった方は、4. の場合と同様10,000円を12,500円にご訂正下さい。

訃 報

下記の会員が御逝去になりました。謹んで哀悼の意を表します。

阿利莫二氏（法政大学教授）

1995年4月29日 1922年生 行政史・地方自治論専攻。

織 完氏（上智大学教授）

1995年3月6日 1933年生 比較政治学・アメリカ政治専攻。

土屋健治氏（京都大学教授）

1995年2月27日 1942年生 東南アジア政治文化・インドネシア政治専攻。

本号の目次

ページ

1 北岡伸一	
「最近の国際交流活動について」…	1
2 1995年度研究会プログラム	2
3 理事会記録	3
4 1994年度決算	7
5 会員の異動	8
6 事務局より	12

1995年5月25日

発行 日本政治学会事務局

的 場 敏 博

〒606-01 京都市左京区吉田本町

京都大学法学部 的場研究室

TEL (075) 753-3262

FAX (075) 753-3290

郵便振替番号 00100-8-84250

加入者名 日本政治学会

印 刷 株式会社あおぞら印刷